



# WEEKLY REPORT



会長 築瀬 敦

= 築瀬 敦会長スローガン =

“ロータリーのマジックを信じ 地域にマジックを掛けよう”

■例会日:毎週水曜日 12:30~ ■例会場:ホテルシーズン日南

■事務局:日南市岩崎3丁目4番地1-2号 Itten堀川ビル2F 創客創人センター内  
TEL:0987-22-3363 FAX:0987-22-3515

第 3388 回例会	No.7	2024.8.21	
点鐘・ロータリーソング	12 時 30 分	「われら日本のロータリアン」	
四 つ の テ ス ト		鬼束忠男 君	
例 会 行 事		結婚・誕生者卓話	

## 会長時間



近代オリンピック（きんだいオリンピックは、フランスの教育学者ピエール・ド・クーベルン男爵の「スポーツによる青少年教育の振興と世界平和実現のために古代オリンピックを復興しよう」という呼びかけに応じて開催されるようになった、オリンピズムに基づき行われる祭典であり、オリンピズムを人々に広めるための祭典であります。オリンピズムとは近代オリンピックの父であるクーベルタンによって提唱された、普遍的な社会哲学で、広義に世界の発展、国際理解、平和に共存する事であり、社会や倫理教育の場でスポーツの役割を強調するものだそうです。オリンピズム（オリンピック哲学）が目指しているのは、平和な世界

を実現し人間の尊厳を護るためにには人類の調和的な成長が必要なので、そのためにスポーツを役立てることである。近代オリンピックは平和の祭典であり、単なる総合スポーツ大会ではありません。国際オリンピック委員会（略称: IOC）が開催し、各国語で短く「Olympics オリンピック」と呼ばれ、日本語ではオリンピックシンボルにちなんで五輪（ごりん）と呼ぶこともあることはご存じのとおりです。近代オリンピックはフランスのピエール・ド・クーベルタンが、古代ギリシャの人々の行動に着目して着想しました。古代ギリシャ人たちも普段は互いに憎み合い、戦争を行い、殺しあっていましたが、ゼウス神の聖地であるオリンピアの地でゼウス神にささげる祭典が開催される間だけは、考え方を一変させ、戦争を一時的に停止し、一か所に集い、「美にして善なること」を重んじ、つまり身体的な美しさだけでなく各の心も道徳的であることを重んじました。このオリンピックの期間の停戦を特にオリンピック休戦と言います。クーベルタンは古代ギリシャの人々のようにスポーツの持つ力を活用することを着想し、19世紀末のパリ大学ソルボンヌ大における会議で提唱し、それが決議されました。近代オリンピックは、人々の道徳性を高め世界平和や人間の尊厳を実現するためにオリンピズムを広めることが最重要の目的で開催される祭典であるので、それを明記したオリンピック憲章が制定されており、関係者が常に守るべき国際オリンピック委員会倫理規程も定めてあります。オリンピックの開催は、もともと夏季オリンピックと冬季オリンピックが同じ年に、4年ごとに行われており、このオリンピックによる4年間、4年ごとの期間はオリンピアードと呼ばれています。1992年まではバルセロナ夏季オリンピック、アルベールビル冬季オリンピックと、夏季と冬季が

同じ年に行われていたのですが、IOC は 1986 年のローザンヌにおける総会で同じ年に開催するという点を変更することを決定し、その後は夏季オリンピックも冬季オリンピックもそれぞれ 4 年毎に開催されていることに変更はありませんが、夏季オリンピックはオリンピアードの第一年に行い、冬季オリンピックはオリンピアードの第三年に、つまり夏季オリンピックの 2 年後に行うようになりました。夏季オリンピック第 1 回大会は、1896 年にアテネ（ギリシャ）で開催され、冬季オリンピックの第 1 回は、1924 年にシャモニー・モンブラン（フランス）で開催されました。冬季オリンピックが始まった当初は夏季オリンピックの開催国の都市に優先的に開催権が与えられてきましたが、降雪量の少ない国での開催に無理が生じることから 1940 年代前半に規約が改正され、同一開催の原則が廃止されました（1928 年アムステルダム大会時の際、オランダでは降雪量不足で雪山が無く、会場の確保困難であったことからこの年の冬季大会はサンモリッツ（スイス）で開催された）。1 回～4 回大会の 3 回は夏季オリンピックの開催国で冬季オリンピックが開催されました。5 回目以降は、夏季、冬季それぞれで開催されることになりました。冬季オリンピックのフランスで行われたアルベールビル第 16 回大会と、ノルウェーのリレハンメル第 17 回大会の開催間隔が 2 年とされ、そのあとの長野オリンピックから夏季オリンピックと重ならずに 4 年ごとに行われています。世界中の人々が集まる大会の公用語は、第一公用語がフランス語で、これは近代オリンピック開催を提唱したピエール・ド・クーベルタンの母語がフランス語であった事にちなんます。第二公用語は英語です。フランス語版と英語版の規定に相違がある場合はフランス語を優先する、としていることでフランス語を第 1 公用語とする事を明らかにしています。現在は、開催地の公用語のリストにフランス語も英語も含まれていない場合は、開閉会式等では開催地の公用語を第三の言語として加える場合があるそうです。パリオリンピックが終了し、来週の 28 日に開会式が開催されるパラリンピックですが、その歴史の始まりは、1948 年 7 月 29 日、英国ロンドン郊外にあるストークマンデビル病院の一角でひっそりと行われた競技会です。16 人の車いす選手が参加してアーチェリー大会が開催されました。第二次世界大戦で脊髄を損傷した兵士のリハビリが目的でした。この大会が原点となり、パラリンピックへと発展していきます。実現させたのはルードヴィヒ・グットマン博士。「パラリンピックの父」と呼ばれます。その後、日本の医師・中村裕（なかむら ゆたか）がグットマン博士と出会い衝撃を受け、1961 年 10 月に、日本初となる障害者選手による本格的な競技会、第 1 回大分県身体障害者体育大会を開きます。そして 1964 年に東京パラリンピックが行われました。パラリンピックを頂点とする障害者スポーツの歴史は、医師の情熱から始まったということです。1948 年、第 1 回のストークマンデビル病院での大会をルーツとしてひっそりと始まったパラリンピックは、68 年後のリオデジャネイロ大会では 159 カ国・地域と難民選手団の合計約 4300 人が参加するほどの大イベントに成長しました。1988 年ソウル大会以降、パラリンピックとの連動が強化され、オリンピック終了後、同一国での開催がおこなわれるようになっています。オリンピック夏季大会において第 1 回大会から全て参加しているのは、ギリシャ・イギリス・フランス・スイス・オーストラリアの 5 か国のみです。ギリシャによる開催は、1896 年と 2004 年が正規のものとされています。第 1 回大会の十年後、1906 年アテネ中間大会が唯一、例外的に開催され、開催事実も記録も公式に認めてメダル授与も行っています。しかし、4 年に 1 度のサイクルから外れた開催であったため、後にこれはキャンセルとされ現在では正規の開催数に計上されておらず優勝者もメダリスト名簿から外され登録されていません。メダルの話題が出たところで我が日本のメダルについて少しお話します。日本人初のメダリストは、1920 年ベルギーのアントワープオリンピックで、テニス男子シングルスで熊谷一弥（くまがや いちや）さん、熊谷さんとともにダブルスを組んだ柏尾誠一郎（かしお せいいちろう）さんのふたりです。どちらも銀メダルを獲得しました。初の金メダルは 1928 年オランダのアムステルダムオリンピック陸上男子三段跳で織田幹雄（おだ みきお）さん、競泳男子 200m 平泳ぎで鶴田義行（つるた よしゆき）さんが獲得しました。女性初のメダリストは同じアムステルダムオリンピックで人見絹枝（ひとみ きぬえ）さんが陸上女子 800m で銀メダルを獲得しています。女性初の金メダリストは 1936 年ベルリンオリンピックにて 200m 平泳ぎで獲得しました「前畠がんばれ！前畠がんばれ！」でおなじみの前畠秀子（まえはた ひでこ）さんです。冬季オリンピックの最初のメダリストは 1956 年イタリアで行われたコルチナ・ダンペツツオオリンピックで銀メダルを猪谷千春（いがやちはる）さんがアルペンスキー男子回転で獲得、冬季オリンピックの最初の金メダルは 1972 年札幌オリンピックで笠谷幸生（かさや ゆきお）さんがスキージャンプ 70m 級で獲得し、銀メダルを金野昭次（こんの あきつぐ）さん、銅メダルを青地清二（あおち せいじ）さんが獲得。表彰台を独占して日の丸飛行隊と呼ばれていたのを子供心によく覚えています。オリンピックでは、史上最多

の20個の金メダルを獲得しました。パラリンピックでもメダルの期待はしたいですが、数にこだわるのはよくないと思います。すべてのパラアスリートの活躍を期待して会長時間とします。

## 幹事報告

- 日本事務局より、5月のロータリーレートのお知らせが届いております。  
今月のレートは、\$ = 154円 となっております。（前月のレートは、1\$ = 161円）
- 笹山義弘カバナーより先日のカバナー公式訪問について、お礼ならびにガバナーアドレスの文書が届いております。
- 地区事務所より、8月8日の地震に対するお見舞いと被害状況の調査が届いております。
- 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より、"ハイライトよねやま №293号"が届いております。

## 峰松ガバナー補佐アドレス

宮崎県南部グループの再編成の可能性についてですが、前回までは中部グループの方に合併する可能性が高いと言っておりましたが、そうすると中部グループが大きくなりガバナー補佐を二人出すということになり、そうなると会長幹事会の意見を聞いてみると、ほとんどの所がそれは承諾し難いという事でございました。この件については地区大会までに決めたいという事でございましたが、場合によっては来年度まで宮崎県南部グループが残る可能性が出てきてまいりました。この中で問題となっております串間ロータリークラブについては串間ロータリークラブの意向を確認しなくてはいけませんが、串間ロータリークラブに残る方が明確な意思を示していませんので、現在白紙に近い状態になっていることを報告いたします。それともう一つの問題はガバナーエレクトについての問題です。延岡中央ロータリークラブの桑原ガバナーエレクトの事業所が延岡市から行政処分を受けたということで、ガバナーエレクト自身は継続したい意向なのですが、周りが許さないであろうということで、今後地区にて協議する事になっております。

## 例会行事

### ○親睦委員会

誕生日 土屋昭次君（1946年8月16日） 榎木田大資君（1977年8月31日） 富満正哉君（1977年8月3日）

## = 結婚・誕生者卓話 =



土屋昭次君（誕生）

皆さんこんにちは。本日は誕生日のお祝いをしていただきありがとうございます。私も78歳になります。もう何回もこの場にてスピーチをさせていただきましたのでもう話すネタも漬えております。本日は東京大学医学部付属精神神経科の医師を経て心と体のクリニック院長の和田秀樹先生の老いに関する著書についてご紹介したいと思います。70代が「老い」の分かれ道、よばよばの80代にならない為の過ごし方についてです。人生100年時代。現在の日本人はかつての70代とは違います。若々しく、健康になった70代の10年間は、人生における「最後の活動期」とも言えます。70代の過ごし方が、その人がどう生きていくかを決めるとも言えます。要介護状態を

遠ざけ、自立した80代以降の老いを迎える為には、どう過ごせばいいでしょうか。30年以上にわたって高齢者専門の精神科医として医療現場に携わってきた和田秀樹さんの『70才が老化の別れ道 若さを持続する人、一気に衰える人の違い』から抜粋します。平均寿命は伸びたが健康寿命は75歳に届かず 日常生活において全く制限なく生きていられる健康寿命の伸びは、平均寿命の伸びに追いついておらず、男女とも75歳に届いておりません。要するに70代をうまく生きないと、長生きはできてもよぼよぼとしたり、介護を受ける期間の長い高齢者になってしまふということです。一般的には70歳の時点ではまだ頭も身体もしっかりしているという人が大多数であるはずです。きもちがわたくし、いろいろなことを続けていたる人は、長い間若くいられる。栄養の良し悪しが、健康長寿でいられるかどうかを決める。そしてそれ以上に重要なのは、人々を長生きさせる医療と、健康でいさせてくれる医療とは違うということです。コレステロールというものは長生きの敵のように言われていますが、コレステロールの高い人ほどつ病になりにくくし、男性ではコレステロールが高い

人ほど元気で頭がしっかりしています。血圧や血糖値にしても、高めの方が頭がはっきりするので、薬でそれを下げる頭がぼんやりしがちです。食事制限などは、生きる楽しみを奪われたり、味気ないものを食べることになるので、元気のないお年寄りになりがちです。 **今の70代は、かつての70代とは違う** 日本人にとっては今後、70代の生き方が、老後生活において非常に重要になってくると考えます。70代の生き方が、その後、要介護となる時期を遅らせて、生き生きとした生活をどれだけ持続できるかということに、大きく関わっているからです。現在の70代の人たちは、戦後生まれの人が70代になったころと比べて、格段に若々しく、元気になってきました。戦後の大幅な出生人口増加期に生まれた団塊の世代ちょうど私の世代(1947年~1949年生まれ)の人たちも2020年には70代になっておりますが、少し前までの70代の人とは、身体の健康度、若々しさが全く違います。1980年当時、60台後半、つまり65~69才の人のおよそ10%近くの人が普通に歩行することができませんでした。しかし、2000年には、正常歩行できない人が2~3%に激減しています。

**第2次世界大戦後元気な70代が増えた理由** カつての70代はそれなりによぼよぼしていましたが、いまの70代はまだ元気な人が多く、10歳ぐらい若返ったようです。このような元気な70代が増えた理由には、第2次世界大戦後の栄養状態の改善が挙げられます。戦後の食糧難にあえぐ日本に、アメリカから余った脱脂粉乳が大量に送り込まれましたが、このころから日本人の栄養状態が改善します。成長期の栄養状態が改善したこと、日本人の寿命は延び、体格もよくなり、現在の若々しい元気な高齢者を出現させています。戦後の結核の撲滅については、ストレプトマイシンという抗生物質のおかげだと考えている人も多くいますが、実際はたんぱく質を多くとるような栄養状態の改善が、免疫力の向上をもたらしたことによって可能となったのが真相です。そもそもストレプトマイシンは結核になってからの治療薬であって、それが結核を激減させた理由にはなりません。結核予防をするBCG接種も、開始されたのは1950年ころからです。

赤ちゃんの時に接種して、その効果で結核が減るとしても、統計に現れてくるのは少なくとも赤ちゃんが成長した10年後ぐらい、1960年代くらいからになります。しかし、結核の減少は、1947年くらいから始まっています。これは、アメリカからの支援物資による栄養状態の改善時期と一致します。 戦後の栄養状態改善で結核が減り、若い時に死ぬ人が激減しました。これによって平均寿命が一気に伸びたのです。若くして亡くなる人を減らすことが、平均寿命を延ばす大きな要因になります。戦後生まれの人たちはこうして平均寿命をのばい伸ばし、体格も立派になって、健康で若々しさを保つようになってきました。その先駆けが、いま、70代を迎えている人たちなのです。

このように様々な要因があって私を含む高齢者が元気でいるのではないかと思います。本日はどうもありがとうございました。



富満正哉君（誕生）

誕生日のお祝いありがとうございます。卓話といったレベルではございませんが、入会して日も浅いことから、改めて自己紹介も兼ねてお話しさせていただきます。パリオリンピックも終わり、多くの日本人選手が活躍しましたので、自分のスポーツ遍歴を振り返りながらお話しします。私は、昭和45年8月3日生まれで、今年で54歳となりました。しし座のO型であります。グーグルで検索しますと、「華やかでありながら、気取ったところがなく、親しみやすい人柄。場の空気を読んで臨機応変に振る舞うのが得意」とのことでした。この評価が正しいか否かは皆様の判断にお任せします。まず、小学時代ですが、小学2年から剣道を始めました。ご記憶のある方もいらっしゃるかもしれません、アニメの赤胴鈴之助ながら赤い胴を付けて稽古に通っていました。中学に入ると、剣道に加え卓球も少しかじりました。また、相撲経験のある体育教師がいたせいか、部活ではなく授業の一環のクラブ活動に、相撲クラブが出来ました。当時はプロレスも人気があり、昔から子供相撲大会などにも参加して自信もあったことから、相撲を始めました。人気のあるクラブ活動で、30名程度の人数がいた関係で、全員分のまわしが準備されるはずもなく、消防のホースを代用していました。中のゴムを外して使うのですが、とにかく硬くて、じんわり血がにじむこともあります。相撲のエピソードをもう一つ。当時でも相撲活動は珍しく、宮崎市内でも3校程度しかなかったと記憶しています。ある日、地元金融機関のポスターの話があり、学校に連絡がありました。厳正なるオーディションの結果、見事モデルとした採用され、「冬のボーナス、のこった！のこった！」のキャッチコピーでお披露目され、当時2万円のモデル料をいただきました。高校に入りますと、かねてより心に決めていた野球部に入部します。卒業数十年後には甲子園

にも出場しましたが、当時は弱小野球部でキャプテンが辞めるなど苦労しました。高校から始めた自分でしたが副キャプテンを任せられ、いい経験をさせてもらいました。とにかく3年間は野球漬けだったと思います。最後の夏は、初戦コールド負けでしたが燃え尽きることが出来ました。大学では、同級生とスポーツサークルを立ち上げ、テニスやバスケなど緩く活動しました。近隣の女子大や短大にも勧誘に行き、夏や冬には合宿をするなど、充実したキャンパスライフの一助ではあったと思います。社会人になるとゴルフや早朝野球などを行ってきましたが、年齢とともに、運動量はめっきり減っています。油津に転勤してからは、社宅が支店の隣ということもあり、5,000歩／日程度しか歩かない日もあり、血圧も上昇中で本当に健康を意識しないといけないと痛感しています。とりとめない話となりましたが、最後に業界の話をして終わりたいと思います。最近耳にされることが多いと思いますが、「金利のある世界」が戻ってきます。金融機関は、間接金融を担っており、ご承知のとおり、お客様からお預かりした預金を、資金ニーズのあるお客様へ融資しています。日銀の政策金利引き上げに伴い、預本金利が上昇し、結果貸出金利が上昇する局面を迎えてます。仕入れコストの上昇を販売価格に転嫁することとほぼ同義です。多くの金融機関が同様の動きとなりますので、決して宮崎銀行のみではございませんのでご理解を賜れればと思います。

## スマイル

築瀬・石灘君 先日のカバナー公式訪問お疲れ様でした。一つ、大きな仕事が終わり、ホッとしています。

斎藤 奈々君 仕事の都合で作業着での出席となりました。 すみません。

西島 元利君 メディアに取り上げていたいたいた事もあり、病院の病棟非難についてたくさんのお見舞いのメッセージを頂きありがとうございました。

古澤 昌子君 出席規定の適用の免除を承認いただきまして有難うございます。  
良い仕込みが出来るように祈念してスマイルします。

## 出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	H C出席	M U	欠席	出席	出席率(%)
今 週	30	7 (5)	25	24	0	1	24	96.00%
出席免除	落丸、小玉、清水、野崎、渡邊							
先取M U								
欠 席	榎木田							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：築瀬 敦 副会長：斎藤篤史 幹事：石灘寛樹 雑誌会報広報委員長：菊池希樹

雑誌会報広報委員会より

情報、原稿は、admin.pmy06@honda-auto.ne.jpまで送信してください。